



事業内容

SCSKが大都市圏の顧客との窓口を担当し、SCSKニアショアシステムズがSCSKの一機能として各地方拠点でシステム開発を担当。SCSKグループとして一体となって顧客に対してシステム開発サービスを提供しています。

SCSK及びグループ各社のシステム開発サービスにおけるシステム開発機能を担う会社として、システムライフサイクル、及びシステム開発プロセスにおける中核部分を担っています。役割としては、システム開発保守サービスと新規システム開発サービスの二つに分けられており、システム開発保守サービスは、すでに稼働中のシステムのレベルアップのための開発で、システム開発保守プロセスの再設計・再構築の部分を担当。新規システム開発サービスは、新しくゼロからシステムを開発するサービスで、SCSKの技術者が顧客とシステム要件を詰め要件定義・基本設計までを行い、SCSKニアショアシステムズは主に詳細設計以降のプロセスを担当しています。

都心のシステム開発案件を、鹿児島で行なう。 エンジニアとして、仕事と好きな暮らしの両方を手に入れる。

都心の仕事を地方で

SCSKニアショアシステムズでは、都心の開発案件を地方で行うことができるシステム環境が整っており、ナビなどの車載システムなどの開発や、システムの保守などの業務を行なっています。都心のお客様との打ち合わせややりとりには、zoomやメールなどのツールを用いてコミュニケーションを取っています。このとき重要なのは、緊密にお客様とコミュニケーションをとること。またメールの際は、文面で全てを伝えなければならないので最新の注意が必要です。

都心の案件は都心でしかできないと思われがちですが、様々なツールを用いて遠く離れた地方でも行なえるのはSCSKニアショアシステムズの強みであると言えます。

鹿児島で働くメリット

都心の仕事を地方で行なう社員の方々が、鹿児島で働くことを選択した理由を紹介しましょう。

まず、鹿児島は都心に比べて人口が比較的に少ないことから、通勤しやすいという意見があげられました。さらに、鹿児島市の中心市街地に位置していることから、自家用車や市電、バス、徒歩通勤など様々な通勤手段を選択することができるという点も強みであるということでした。

次に、鹿児島は都心と比べて自然が豊かであるという声が多くあがりました。気持ちをリフレッシュするために自然を感じることは、ひとつの有効な手段であるといえます。気軽に行くことができる場所で自然を感じられることが、地方ならではのメリットだそうです。



●都会に身をおかず、住みやすい街から都心部の仕事に関わることができます。



●(右) 深田さん (左) 井手野さん
仕事帰りに一緒にジムに行くことも。



●鹿児島中央駅近くの市街地にあるオフィスでアクセス良好。



充実した研修で文系も大歓迎

SCSKニアショアシステムズは、IT企業であり理系出身の社員が多いと思われがちですが、実際は文系出身が約3～4割を占めているそうです。

入社後、数ヶ月は研修期間としており、充実したカリキュラムをしっかりと学ぶことで、研修終了時には文理ともに同じくらいの知識が身に付くようになっているとのこと。また海外のお客様も多いそうで、英語を使う機会もあります。さらに、システム開発には使う人、使い勝手、使われる環境など、様々な点も考える必要があり、これら点に関しては文系出身の方が理系出身より有利になるケースもあるようです。文系出身だからといって、就職を諦める必要はなく、むしろ文系出身の人も大歓迎とのことでした。

仕事でやりがいを感じることは？

(井手野さん) 普段よく耳にする大きな企業の方々のやり取りに携われるときにやりがいを感じます。自分自身まだ未熟な部分もありますが、そんな機会をなん度も経験していくうちに、自分の成長を感じられることも多くあります。

(深田さん) 入社当初はできないことも多かったですが、徐々にできるようになり、日々の仕事の中でやりがいを常に感じています。また自分が作ったもの、修正したシステムが世に出て、お客様に使われる場面を目にしたときは嬉しく思います。

福利厚生は充実している？

(井手野さん) フレックスタイム制度で勤務時間を決められます。私は定時が17時半で、残業は月平均10時間ほど。18時半には帰って自分の時間を十分にとることができます。学生時代に比べて、時間の使い方を大事にし、充実した時間を過ごすようにしています。

(深田さん) 私の場合は定時が18時半ですが、出勤は10時なのでゆっくり出勤できます。大きな仕事に携わる期間は難しいですが、フレックスタイム制度で午前には用事があるときは、午後から出社したいと気軽に言えるのも嬉しいですね。休日もしっかりとることができ、家の近くを散歩して桜島を眺めたりしています。

キャリアアップは自らの選択で

ここでは、キャリアを自ら選択できます。自身のスキルや目指したいエンジニア像など、状況を考慮しながら、キャリアアップするかどうかを選択できます。キャリアアップを希望すると、県外での仕事を経験するなど、これまで以上に仕事の幅を広げていくことになるそうです。また仕事の成果は数値化されているので、常に正当な評価を受けられます。自分の成果が可視化されるため、よりやりがいを感じることもできるとともに、公正な評価を受けているという安心感もあります。人によっては、家庭の事情を考慮して、キャリアアップを選択しないケースもあります。社員にとって、より働きやすい環境づくりができたと思えました。

都会の仕事をして地方で行ないながら、鹿児島で地域貢献していくことも視野に入れてみるのも良いかもしれませんね。

〈担当から学生へのコメント〉

取材ありがとうございました。またご苦労さまでした。今回の経験を通してIT業界ならびに地元で働くことの魅力など、当社の活動を通じてその一端を感じていただければと思います。近い将来、みなさんが「好きな街で、自分らしく。」活躍されることを心から願っています。

システム開発第四事業本部 鹿児島開発部 部長 長友 賢造



～ 取材後の感想 ～



鹿児島大学
くーさん

リモート通信等によって、都心の仕事を地方で行うことを可能にしているのを見て、ネットワーク社会の進化を改めて感じました。



鹿児島大学
瑞希

初めてのリポーターですごく緊張しました。普段聞くことのできない企業の裏側の話や雰囲気を知れて非常に勉強になりました。



鹿児島大学
楓子

理系分野の企業の30%以上を文系の人々が占めているのが、とても印象に残りました。将来何をしたいのかを考えることができました。